

6月は何もなくても必ず「再契約」

2024・5・29 重枝 一郎

実は、このことは毎年書いていると思う（笑）。

学級目標は、クラスの合言葉である。年度初めには、学級目標づくりでは、1年間、安心して居心地よく過ごすための、ルールとマナーを生徒同士で「契約」している。学級の居心地の良さを維持するための責任は、全員にある。居心地の良さは与えられるものではなく、獲得するものである。まずは、生徒にその認識を持たせなくてはならない。

さて、4月に学級目標、学年目標などを「契約」している。私は、6月に「再契約」をするから、4月に「契約」をしているという逆算の考えもあった。6月くらいになると、生徒が潜在的にもっている問題が表面化してくる。だから、適度な刺激がなければどんな集団でも退行していく。荒れ始める前に「再契約」の取組が大切になる。ここから、学級づくりの本番である。

「再契約」の方法は、まずは、年度初めの初頭効果と今のクラスの状態とのギャップのようなことは、必ず振り返りを行う。その際、嫌な思いをしている生徒がいたら、そのことを真剣に問う教師の迫力は必要である。その教室の空気感を真剣なものにするために、以前も紹介した「ビーイングシート」を使うのもいい。このシートには「されて、言われて嫌なこと」を書くようになっていて、その内容を教師が悲しい顔で言葉少なく読み上げて、生徒たちに「再契約」のマインドセットをしていく。

ビーイング

何か、象徴的な形の輪郭を準備する。キャラクターでも仲良く手をつないでいる絵でもよい。輪郭の内側に、「居心地の良い楽しいクラスにするために、自分ができること・他の人にしてほしいこと」を書く。外側には、その逆に「自分がしない・言わないこと、他の人にされ・言われて嫌なこと」を書く。個人で書いた後に、グループで共有する。最後に学級全体で共有し、学級目標につなげる。このプロセスを経ることで、一人一人の責任を強化する。下図はイメージである。おそらくもっと具体的な言葉が出てくると思う。例えば、「嫌な言葉」「嫌な呼ばれ方」「言葉が荒い人の口癖」など。それを共有する。

